THE TOHKAI SHIMPO

東海新報

平成23年（2011年）
4月8日 金曜日

第16009号　日刊（月曜日休刊）

負けるな気仙!!　心をひとつに
復興目指して一歩ずつ前へ!!

きょうの紙面

大船渡市で無料バス６路線を往復で運行中、バスダイヤ一覧表……３面
津波にも負けず、がれきの山から無傷で見つかった奇跡の漁船模型……５面
県中小企業同友会気仙支部の新入社員合同入社式で決意も新た……６面

©東海新報社　〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭9-1 編集専用TEL080-1661-0671 営業・新聞専用TEL080-1661-0672

再開「5月下旬を目安」

カツオ漁に合わせ インフラ早期復旧がカギ

大船渡魚市場

大船渡魚市場㈱（菅野佑三社長）では、カツオの水揚げ時期に合わせた営業再開に向け、職員らが懸命の復旧作業を続けている。具体的な目安として「5月下旬」としているが、再開のタイミングは寸断状態が続くインフラの復旧時期がカギとなる。水産加工業者の間では魚市場の再開時期を基準として事業再開計画を立てる動きがあり、行政側でも産業再興に向け支援充実を急いでいる。

大船渡町の岸壁沿いに位置する大船渡魚市場の施設は、大津波で事務所がある2階部分まで浸水。幸い、上屋施設の流失は免れ、先月23日から職員らが集まって片付け作業を続けてきた。結果、岸壁部分はがれきが無くなり、整然とした状態となっている。

片付け作業開始時から、早期再開を目指してきた魚市場。現時点では「5月下旬はあくまでも目安。今の段階では早まることも遅くなることもある」と、慎重な姿勢を見せる。

5月下旬を掲げる背景には、例年6月から本格化するカツオの水揚げに対応したい狙いがある。大船渡魚市場は例年、国内最北の拠点として位置づけられている。

新鮮な状態でいち早く消費者に提供する措置として、平成4年から本来休場日の日曜に、カツオに限って水揚げを行う「日曜開場」を実施してきた。水揚げのため寄港する漁船も、東日本大震災の被災を受けなかった地域の船籍が多い。

一方、魚市場だけの努力では克服できない課題も抱える。現段階では既存施設での営業を目指しているが、魚市場周辺は壊滅的な被害を受け、電気や水道といったインフラ復旧のメドが立っていない。魚市場の駐車場部分には、がれきがまだ残っているほか、機械設備の更新・修繕も今後必要になるとみられる。

市農林水産部などでは早期インフラ復旧の調整を進め、再開を後押ししたい方針。市内では各水産加工業者が持つ冷凍庫・冷蔵庫の被害も大きいが「とにかく魚が入れば、生の状態で加工や卸売もできる。魚市場稼働が水産復興への第一歩だ」との声も出ている。

魚市場では、屋上部分に大漁旗を掲げ、復興を誓う浜の心意気を示している。千葉隆美専務は「復興に向けて、いつでも魚を受け入れる体制を整えたい。みんな一丸となって努力していく。我々は海から恩恵を受けて生きてきたので、それを捨てるわけにはいかない。1日も早い復興を目指す」と話している。

既存施設近くで建設を進めてきた新大船渡魚市場は、市では当初今年9月末の供用開始を目指してきた。鉄筋コンクリート製の柱などは流されずに残っているが、工事再開の見通しは立っていない。

住まいのホットライン開設

県は県内の被災者向け「住まいのホットライン」（フリーダイヤル0120・882・606）を開設した。土日祝日も含め午前9時から午後6時まで相談を受け付ける。

対象は東日本大震災津波で被災し、住居に困っている人や震災者をサポートしている人。応急仮設住宅、県営住宅、自宅の再建、そのほか、市町村営住宅や雇用促進住宅等に関する情報提供など。

産業支援の要望多く

民主党復興検討チーム視察

気仙沿岸

民主党復興ビジョン検討チームの座長を務める直嶋正行参議院議員らが7日、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた気仙沿岸を視察した。各視察地では、地元関係者から早期復興に向けた事業所支援などの要望が相次いだ。

地元からの要望に耳を傾ける直嶋氏㊥＝大船渡町

訪れたのは直嶋議員のほか、副座長を務める地元選出の黄川田徹衆議院議員、事務局長の近藤洋介衆議院議員、事務局次長の階猛、北神圭朗両衆議院議員の計5人。県沿岸広域振興局の水野尚光副局長らが同行した。

一行は、盛岡市の県庁で達増拓也県知事と協議を行ったあと、乗用車で気仙入りし、陸前高田市の災害対策本部がある高田町の市学校給食センターを訪問。大津波によって壊滅的な被害を受けた市役所周辺や小友地区なども回った。

大船渡市内では、大船渡町の東海新報社駐車場から湾口防波堤を失った大船渡湾を視察。立ち会った戸田公明市長は、復興に向け地場企業の再建支援充実を要望した。田村誠県議も海中のがれき撤去や全国各地の港にある中古船の活用など、漁業者支援を強く求めた。

これに対し、直嶋議員は「国を挙げて復興に向けた取り組みを進めていきたい」と語った。地場企業支援にも「最優先で取り組むべき問題」と語り、理解を示した。

自民党衆院議員が視察

金子元国交大臣ら被災地へ

金子一義元国交大臣ら自民党衆議院議員3人が6日、東日本大震災で被災した陸前高田市を訪れ、大地震や大津波によって破壊された町並みの惨状を視察した。

同市入りしたのは、金子元大臣のほか、山本公一党副幹事長と福井照党水産部会長。花巻空港から宮澤啓祐花巻商工会議所会頭ともに車で釜石市と大船渡市を経由し、同日午後4時過ぎに陸前高田市を訪れた。

米崎コミセン前で荒木眞幸市議と合流。伊藤啓一国交省東北地方整備局三陸国道事務所副所長に案内してもらいながら被災した各道路をはじめ、高田町の町並み、高田バイパスの気仙大橋などを見て歩いた。

その後、市災害対策本部が設置してある市給食センターへ移動。戸羽太市長や佐藤勝市消防団長とあいさつを交わし、国交省職員と

自民党衆議院議員の金子元国交大臣（左から3人目）らが被災地を視察＝陸前高田市

の会合に出席した。横田中学校では被災者支援活動を展開している自衛隊員を激励。住田町役場では多田欣一町長や荒木久一議長と懇談した。

大船渡市

陸前高田でも「さいがいFM」

大船渡市によると、7日午後4時30分時点での死亡者数は282人で、6日よりも3人増えた。新たな身元判明者は1人。遺体は盛町の市民体育館に安置され、立根町のおおふなと斎苑などで火葬が順次行われている。

行方不明者は230人で、新たに死亡が確認されたことで1人減った。捜索活動は自衛隊や市、海上保安庁、地元消防団など160人体制で行われた。

市では、大船渡町の盛川沿いにある浄化センターの簡易浄水機能が復旧したことから、公共下水道につないでいる全世帯が使用可能な状態になったと発表。盛町や大船渡町などで供用が始まっている。

また、応急仮設住宅は15日（金）から末崎小学校（52戸）、末崎中学校（66戸）、赤崎町の大立地域と蛸ノ浦小学校（計84戸）、三陸町綾里の三陸総合運動公園（140戸）で着工する。

災害支援ボランティアには、6日は87人が参加し、累計は1672人。市災害義援金にはこれまで92件の善意が寄せられ、総額では2029万円となっている。

陸前高田市

陸前高田市によると、住宅被害数は3600戸で、被災人員は1万547人。6日午後6時現在、死亡者は1174人と前日より16人増え、18人の身元が判明した。遺体安置所は米崎中、矢作小両校の体育館と住田町生涯スポーツセンターの3カ所で、開所時間は午前8時30分から午後5時。8日は千葉県内で身元不明者の火葬が執り行われる。

行方不明者は7日午後4時現在で1183人と、前日より15人減少。同日同3時現在、避難所、避難者数は83カ所、7272人で、4日以降推移がない状態となっている。

市は、大船渡市で開局した「おおふなとさいがいFM」が、8日から陸前高田市内でも放送されると発表。周波数は80・5メガヘルツで、小友町の箱根山にある国交省の電波塔を利用する。

放送時間は午前8時、同11時、午後2時、同5時の4回。それぞれ2時間程度、両市の行政情報をはじめ、被害やライフライン復旧の状況、天気予報、東海新報社の掲載記事などを紹介する。

また、震災で多くの避難所が被災した件について、戸羽太市長は「国が想定した宮城県沖地震を遥かに超えた津波であり、ハザードマップで示した浸水域を超える結果となってしまった。今後は避難所はもちろんだが、高台へすぐに上がれる通路や階段の増設なども必要。人的被害ができるだけ出ない体制をとっていきたい」と述べた。

住田町

7日正午現在、住田町民の行方不明者は紺野仁さん（上有住桧山）佐々木洋子さん（下有住新切）の2人。災害対策本部では引き続き情報収集と提供を呼びかけている。

6日スタートした町独自建設の応急仮設住宅（93戸）入居受け付けには、初日だけで81件の申し込みがあり、関心の高さを示した。

受け付けは12日（9、10日も開庁）の午前9時から午後5時まで。町役場災害対策本部窓口まで訪問を。電話（090・3645・9939、0903758・9904）でも可能だが、町建設課住宅係は「できる限り来庁を」としている。問い合わせは、同係（TEL46・2111内線212）へ。

7、8の両日、町農林会館では救援物資配給を実施。食料や日用品に加え、過去、町の誘致企業として工場を構えていた㈱ルックモード提供の婦人服や下着類も並ぶ。時間は午前9時から午後5時。

安否情報伝言メモ

▽新沼丞・真理子・啓太・錬は、日頃市町関谷4の5、鈴木繁太郎宅にいます。

天気

◆きょう　くもり夕方一時雨
◆あす　くもりのち雨

海上（波の高さ）

◆きょう　1.5mのち2.5m
◆あす　1.5m

きのうの気温（右は平年比、△高 ▼低）

◉最高　19.5℃　△ 7.4
◉最低　2.6℃　▼ 0.1

あすの暦

4月9日（旧3月7日先負）

日出	5：05	満潮	5：19
日入	18：03	〃	19：46
月出	8：12	干潮	12：44
月入	23：29	〃	—：—
月齢	5・5	—小潮—	（大船渡湾）

世迷言

JR東日本の清野智社長は、東日本大震災による津波で被害の出た太平洋沿岸の7路線すべてを復旧させる方針を明確にしたという。しかしそれはリップサービスというもので、原状復帰はうやむやに終わるのではないかという気がしてならない▼公社時代ならともかく営利を追求する民間企業となったいまのJR内部で、お荷物となる赤字路線は切り捨てよという資本の論理が前面に出てくることは避けられない。そこであれこれ理屈をつけて一ノ関―気仙沼間は温存、気仙沼以北はバスで代行輸送という〈復旧〉になる公算が強いのではないか▼鉄路による大量輸送時代が遠い過去のものとなり、旅客のみでしかも少子高齢化時代となって運賃収入が右肩下がりのこれから、公共サービスの維持という使命感がどれだけ機能するか、小欄は大いに疑問とする▼それだけでなく、問題は気仙沼以北、つまり気仙の利用者が鉄道を公共交通機関として必要としているかどうかである。「ないよりはあった方がいい」では資源のムダに終わろうというものである。昭和10年に盛駅まで開通した同線は、使命を終えてバスにその座を譲る時ではないか▼「脱鉄道」により、線路で分断されている両側の往来が円滑化し、新たな都市開発が促進される一方で災害時の迅速避難も可能になり、敷地はサイクリング、ウオーキングなどの安全なスペースに活用できる。そして計画されていた大船渡駅の新築費用6億円は復興に回せるという具合。以上は個人的意見開陳としておこう。

お見舞いとご案内

この度の大災害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
弊社も倉庫流失及びセレモニーホールの浸水等の被害を受けたため、ご用命いただきました方々には十分な対応ができず、ご不便をおかけいたしました事を心よりお詫び申し上げます。
この度、復旧作業の終了に伴い**セレモニーホール千の風**の使用が可能となりました。
当面の間、通夜、葬儀にかかるホール使用料は無料とさせていただきます。
固定電話復旧までの間、下記までお問い合わせください。

090-1932-2543（docomo）
090-1939-2543（au）

※見本展示品の寝具・ギフト類全品半額！
※ご希望の方に掛・敷ふとんを差し上げております（新品ではありません）

総合葬祭 米沢
三陸町綾里字石浜100-1

この度の地震、津波により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早く復旧されますよう心からお祈り申し上げます。

営業のご案内

下記の通り**仮事務所を開設致しました**のでご案内申し上げます。**固定電話復旧までの間、下記までご連絡お願いいたします。**

サンライズ保険企画《仮事務所》大船渡市立根町桑原22-6（マッキーロードSS・2F）
090-2600-1720（石橋）　**080-1852-9492**（東）
《東京海上日動火災保険㈱盛岡中央支社》TEL**019-654-8121**（9:00～17:00）
震災に関する事故受付／0120 **0120-011-110**（9:00～17:00）
《日新火災海上㈱北上支店》TEL**0197-65-3821**（9:00～20:00）
《日新火災海上㈱》0120 **0120-616-887**（9:00～17:00）

オートリペアサンライズ（自動車整備）《仮事務所準備中》**090-4887-5677**（根本）　**090-3983-2829**（舘本）

㈲丸新工業《仮事務所》大船渡市赤崎町諏訪前10-9（新和運送内）**090-3369-8020**（渡辺）

マッキーロードSS　※4月11日より営業時間が7:00～19:00に変更になります。灯油配達承ります
立根町で営業中　**090-7338-0080**（細谷）　**090-2797-9424**（佐藤）　**090-6252-0927**（倉本）

営業再開のお知らせ

この度の大災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。当組合事務所も被災し、休業しておりましたが、**下記仮事務所にて対応させて頂きます**のでご案内申し上げます。

住所：大船渡市猪川町字千刈9-8
（岩手県建設業協会大船渡支部2F）
090-8252-0785（佐々木）
090-8252-0949（工場長）

気仙郡建設業協同組合